

## ■第2次試験

I.次の各問は「焼酎の歴史」について問う問題である。

【例題1】世界最古の蒸留機が誕生したとされる文明を選択肢から選びなさい。

A：古代中国　　B：古代メソポタミア　　C：古代アフリカ　　D：古代インド

【例題2】日本最古の「焼酎」という文字が記載されたものを選択肢から選びなさい。

A：鹿児島県大口市の郡山八幡神社から　　B：欧州の「日本の諸事に関する報告」から  
C：朝鮮の李朝実録から　　D：徳川幕府の実記から

II.次の各問は「各地域における焼酎の歴史とその特徴」について問う問題である。

【例題1】サツマイモが日本にもたらされたといわれるルートを選択肢から選びなさい。

A：朝鮮から福岡　　B：メキシコから鹿児島　　C：アメリカから北海道　　D：中国から沖縄

【例題2】鹿児島地方にサツマイモ栽培を広めた人物を選択肢から選びなさい。

A：河内源一郎　　B：青木昆陽　　C：丹宗庄右衛門　　D：前田利右衛門

【例題3】東京都、伊豆諸島で焼酎が造られるようになった背景を記述しなさい。

III.次の各問は「焼酎に関する法規・法令」について問う問題である。

【例題1】酒税法上の蒸留酒類の品目の中で、本格焼酎が該当する品目を選択肢から選びなさい。

A：原料用アルコール　　B：連続式蒸留焼酎　　C：単式蒸留焼酎　　D：スピリッツ

【例題2】本格焼酎を名乗るために、「穀類（米、麦など）」「芋類」「清酒粕」「黒糖」以外に国税庁長官が定める原料の種類品の品数を選択肢から選びなさい。

A：19品　　B：29品　　C：39品　　D：49品

【例題3】2005年1月1日から、日本酒造組合中央会と日本蒸留酒酒造組合が「甲類焼酎と乙類の混和焼酎の表示」に関する自主基準を定めた背景を記述しなさい。

IV.次の各問は「焼酎の原料」について問う問題である。

【例題1】甲類焼酎の原料の中で、サトウキビに次いで多く使用されている原料を選択肢から選びなさい。

A：麦　　B：タピオカ　　C：米　　D：トウモロコシ

【例題2】本格焼酎に使用される水についての説明として誤った文章を選択肢から選びなさい。

A：アルコール度25%の製品では、製品容積の35～40%が割水用の水である  
B：割水は直接品質に影響するだけに大変重要視される  
C：金属成分が多いと、焼酎ににごりや浮遊物が生じやすくなる  
D：原料の洗浄用に使用する水の品質は、それほど重要視されない

【例題3】麦焼酎製造時の一般的な製麦歩合を選択肢から選びなさい。

A：60～65%      B：70～75%      C：80～85%      D：90～95%

V. 次の各問は「本格焼酎の製法」について問う問題である。

【例題1】本格焼酎に使用される水についての説明として誤った文章を選択肢から選びなさい。

- A：アルコール度25%の製品では、製品容積の35～40%が割水用の水である
- B：割水は直接品質に影響するだけに変重要視される
- C：金属成分が多いと、焼酎ににごりや浮遊物が生じやすくなる
- D：原料の洗浄用に使用する水の品質は、それほど重要視されない

【例題2】本格焼酎の二次仕込みの際、原料を加熱処理する説明として誤った文章を選択肢から選びなさい。

- A：香ばしい香りを付けるため
- B：麴の作用を受けやすい状態にするため
- C：生臭といわれる香りの変化させるため
- D：殺菌のため

【例題3】泡盛の仕次ぎを簡潔に説明しなさい。

VI. 次の各問は「焼酎の4タイプ分類」について問う問題である。

【例題1】特にイタリアンや野菜料理など香りの高い料理との組合せで個性が生きるタイプはどれか。

- A：フレーバータイプ
- B：ライトタイプ
- C：リッチタイプ
- D：キャラクタータイプ

VII. 次の各問は「焼酎のサービス」について問う問題である。

【例題1】同じ焼酎を「お湯割り」と「オンザロック」で飲む場合の香味の感じ方の違いを記述しなさい。

【例題2】「焼酎の華」とは何か記述しなさい。